第６学年○組　道徳科学習指導案

指導者　○○　○○

１　主題名　希望と勇気、克己と強い意志　Ａ－（５）

２　教材名　選手になりたい（出典：明るい心）

３　主題設定の理由

（１）子供の実態について

６年生になり、子供たちは「自分のことは、自分が一番よく分かっている」と思い込み始めている。自分で限界を決めてがんばろうとしなかったり、「こうしたい」という思いはもちながらも、困難に直面するとくじけてしまう子、途中で投げ出してしまったりする子が多い。自分が思い描いていたように事が進まないと、どうしたらよいか分からなくなってしまい、簡単に目標をあきらめてしまう。

小学校を卒業して中学生になる子供たちには、目標をもち、それを達成しようとする強い気持ちをもてるようにしたい。そのために、最後まで自分の力を出し切ったときの達成感を感じ取らせ、あきらめずに努力することの大切さに気付かせたい。

（２）道徳的価値について

子供たちは、日々の生活の中で、様々な困難に出会い、向き合っていかなければならない。その困難を乗り越えられるときもあれば、時には困難に跳ね返され、くじけてしまうこともある。

しかし、跳ね返されてしまったとしても、困難に最後まで立ち向かったときの達成感は何にもかえられないものである。結果がついて来ないときでも、いかに行動するかによって、自分を大きく成長させることができる。このようなことを子供たちに実感させ、どんなときでも前向きに物事に取り組み、粘り強くやり通す力を育てたい。

（３）教材について

この教材は、主人公が目標に向かって努力したのに、選手に選ばれないという困難に直面する話である。主人公は、選手に選ばれなかったが、自分で新たな目標をもち、最後までがんばろうとする。

本時では、選手になれなかった部員が自分だけになっても、練習に出続けるか否かを子供たちに考えさせる。思っていた結果でない上に、孤独に耐えなければならない状況は、子供にとって大きな困難である。教材文を切り、結末を知らせないことで、主人公の心情を考えさせ、悔しさを乗り越えて前向きにがんばることの大切さに気付かせたい。さらに、部活動や縦割り班など、最高学年として自分の思うようにいかないことも増える子供たちの経験を伝え合うことで、主人公の気持ちに共感させ、それでもやり切ったときの気持ちよさに気付かせたい。

（４）抽出児

Ａ子…Ａ子は、困難に直面したり、自分の思いと違う状況になったりすると、すぐにくじけてしまう。最後まで粘り強くやり遂げることのすがすがしさを知り、少しでも自分の目標をもてるようにしたい。

Ｂ男…Ｂ男は、物事に前向きに取り組むことができず、目標が達成できないとだめだと思ってしまうことが多い。目標が達成できない状況でどう行動するかを考えさせ、困難にくじけずにがんばろうという気持ちを育てたい。

４　本時のねらい

目標を達成するために、困難にくじけず、最後まで粘り強くやり遂げようとする意欲を高める。

５　学習過程（★子供が主体的に学ぶための支援）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学　　習　　活　　動 | 教　師　の　は　た　ら　き　か　け |
| 導入 | １　自分の生活体験を思い起こす。  ○目標を立てて、がんばろうとしたけれど、途中でやめてしまったことはありますか。  ・毎朝走ろうと思ったけど、起きるのがきつくてやめてしまった。  ・習い事の発表で失敗して、もうやりたくないと思った。  ２　現在の自分の意識を確かめる。  　目標は　達成できないとだめなのかな | ・自分の経験を振り返り、最後までやり遂げられないときの原因も考えさせることで、本時のめあてにつなげていく。 |
| 展開 | ３　教材文を読んで話し合う。  ○教材文を読んで、思ったことや気になったことはありますか。  ・足が痛くても、先生のアドバイスでがんばれたと思う。  ・みんなに追いつけないと、つらい気持ちが分かる。  ・明が励ましてくれて、みんなに追いつけるようにがんばろうと思えたと思う。  ・自分の名前が呼ばれなくて、もうがんばりたくないと思ったと思う。  ・最後まであきらめずに頑張った方がいいと思う。  ４　子供の意見の中から、問題点を取り上げ、話し合う。   |  | | --- | | あなたが「ぼく」だったら、練習を続けますか。 |   ・やっぱりがんばっても無駄なんだ。練習なんてやめる。  ・６年生一人で、続けるなんて恥ずかしい。  ・でも、中学校でもやりたいなら、続けるべきだと思う。  ・最後までやり切ると、気持ちがいいから続ける。  ・あきらめずにがんばると、達成感があると思う。 | ・「選手になりたい」という強い思いで、主人公がいくつもの困難を乗り越えてきたことをおさえる。  ★「最後までやり切るか否か」という揺れ動く主人公の心情に迫らせるために、結末を知らせないように教材文を切る。  ★子供が主体的に考えることができるよう、子供の意見の中から問題点を取り上げる。  ・名前が呼ばれず、悔しい気持ちに共感し、それでも困難を乗り越えようとする前向きな主人公の姿を捉えさせた子に焦点を当てる。  ・最後まであきらめずにやり遂げたときの達成感を感じ取れた子を紹介する。 |
| 終末 | ５　振り返りをする。  ○今日の授業で、分かったことや大切だと思ったことを書きましょう。  ・自分はちょっとしたことでくじけてしまうけど、あきらめずにがんばることが大切だと思った。  ・部活で、つらいこともたくさんあるけれど、がんばって乗り越えて、力を出し切りたい。 | ・子供が考えを整理しやすいよう、ワークシートを配付する。 | |

６　評価

自分が考えていた目標が達成できなくても、最後まで努力し続けることの方が、自分をより成長させると気付くことができたか。（ワークシート・発言）